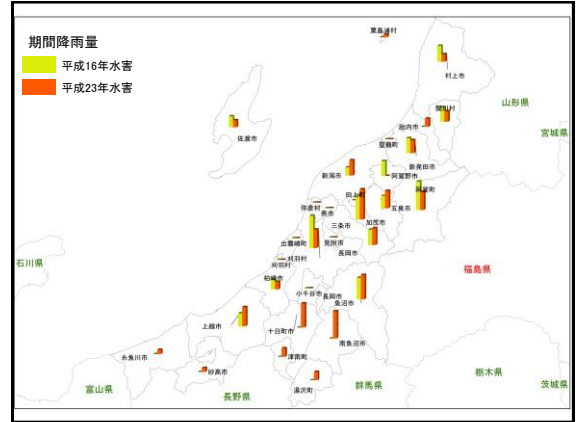


平成23年7月新潟・福島豪雨の検証 (中間報告)

新潟県・新潟大学

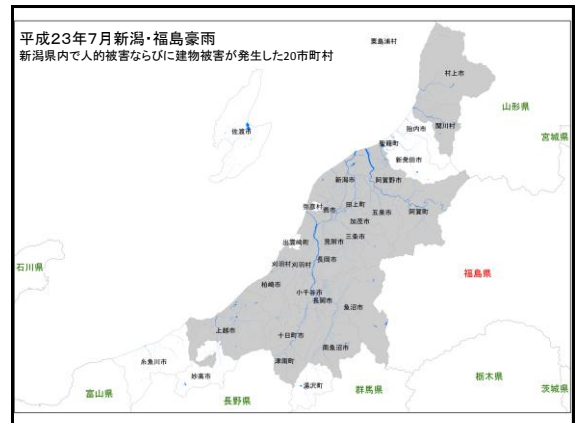
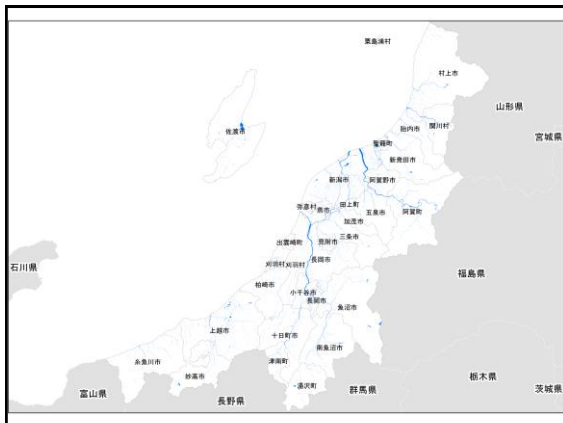
発表者: 新潟大学 危機管理室 田村圭子

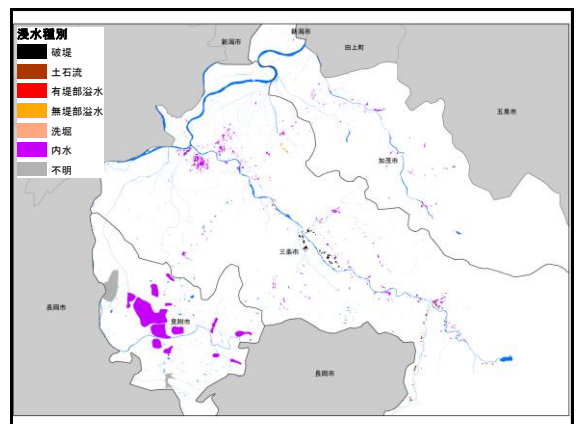
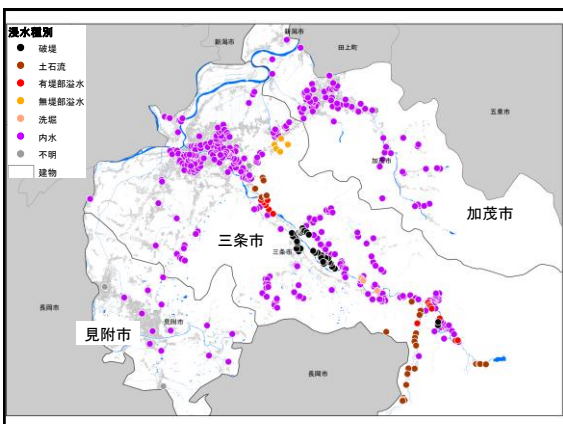
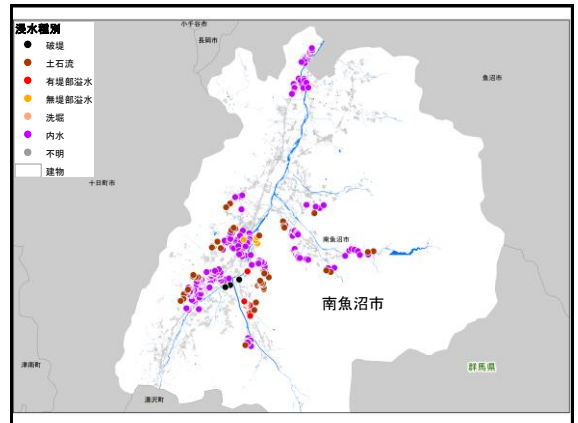
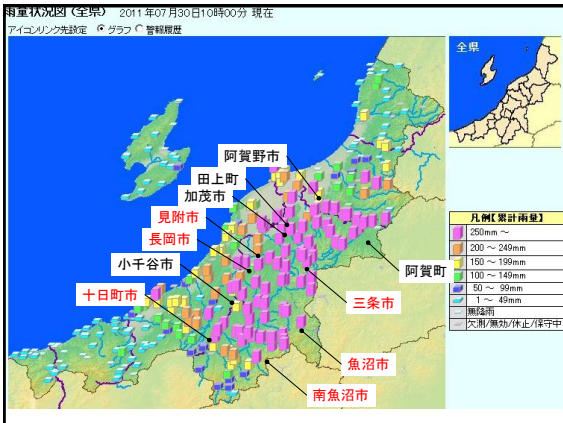
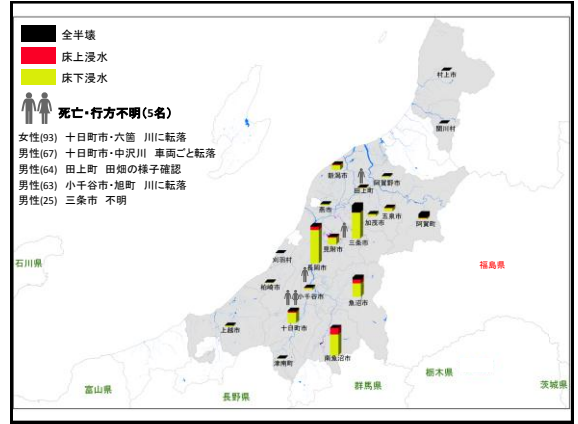
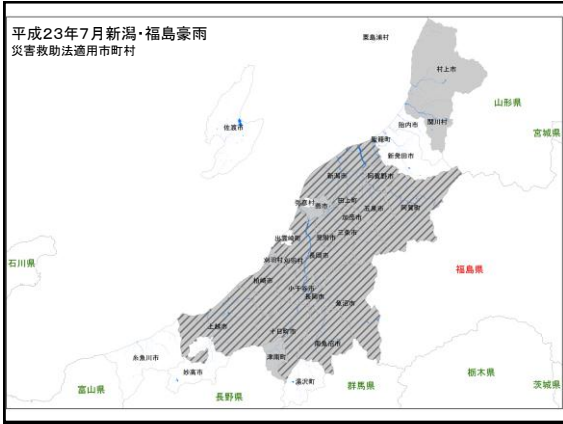
協力者: 新潟大学 災害・復興科学研究所 井ノ口宗成

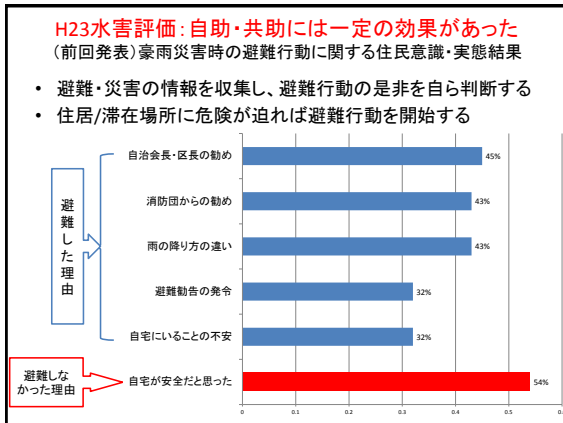


被災の実態 (H16年とH23年豪雨水害の比較)

- 外力: 長期間にわたる激しい豪雨
 - 平成16年水害... 強雨期間: 9時間、降水量: 最大300mm
 - 平成23年水害... 強雨期間: 3日間、降水量: 最大1000mm (強雨期間: 9時間、降水量は最大500mm)
- 人的被害: 0(ゼロ)にならない死者数
 - 平成16年水害... 15名
 - 平成23年水害... 5名
- 建物被害: 全半壊は少なかった
 - 住家被害
 - H16... 全壊70棟、半壊5,354棟、一部損壊94棟、床上2,141棟、床下6,118棟
 - H23... 全壊41棟、半壊 808棟、一部損壊31棟、床上1,101棟、床下7,568棟
 - 非住家被害
 - H16... 公共建物89棟、その他6,886棟
 - H23... 公共建物84棟、その他5,619棟







- ### H23水害評価: H16に比べて、H23は...
- H23水害評価①辛くも被害が出なかった
 - 県内の広範囲が長時間豪雨に見舞われたため、同時多発災害が発生する危険があつた
 - もともと浸水被害がおおきかった三条市は、H16後、大規模な河川改修が進んでおり、「破堤」しなかったため、家屋倒壊するような被害がでなかった
 - H23水害評価②(大きな河川沿いでは)大規模破堤が起こる可能性があつた
 - 信濃川や阿賀野川では大規模氾濫の危険性があつた
 - H23水害評価③(山と川が迫っているせまい地域では)土砂災害による死者の発生危険性があつた
 - どこに逃げればよいかわからない
 - 地域がせまく、川+道路→被害、山がせままって逃げるスペースがほとんどない
 - 最も安全なのは、地域からバスなどで長距離避難する→あまり現実的ではない
 - H23水害評価④公助の体制に課題があつた
 - 豪雨が3日にわたって続き、2日目の夜に小康状態になったので、要員の交代等を実施したため、県・市町村とも手薄になったところに発災が顕在化した。

出水期に向けて...

- 同時多発災害の危険性を予測し、関係機関で共有できるような、気象情報、被害情報の可視化の仕組みづくり
- 地域特性に応じた避難の仕方の検討
 - 大規模破堤・氾濫が予測される地域
 - 水害・土砂災害のダブルで不安がある地域
- 長期化に対応した行政対応体制の整備

